

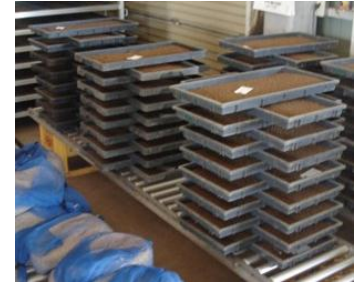
# 湛水直播管理情報 (第1号)

～ 湛水表面直播(鉄コーティング) ～

平成29年4月14日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

## 1. 種子の準備

- コーティング直後の種子は、発熱による発芽率の低下の危険があるので、すぐに苗箱等に薄く広げ、十分に乾燥させてから保管しましょう。
- 播種前に必ず種子の発芽率を確認しましょう。



## 2. 圃場の準備

- 畦畔からの漏水を防止し除草剤の効果を高めるため、畦塗りを行いましょう。
- 圃場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生し、生育不揃いの原因になります。  
耕起前に田面の高低差を直すとともに、耕起～碎土・整地の作業は移植より丁寧に行いましょう。
- 代かきは水を少なめにして行い、稲株や雑草をしっかりとすき込みましょう。また、練り過ぎに注意し、播種作業に適した硬さに仕上げましょう。

○代かき時期の目安

土質	代かきの目安
砂壤土	播種3日前程度
植壤土	播種5日前程度

## 3. 基肥量の目安(コシヒカリ)

基肥は、移植栽培よりチツソ成分で1.0～1.5kg/10aの減肥を目安に施用し、倒伏防止に努めましょう。

○コシヒカリの基肥の目安

土壌区分	LPss直播コシヒカリ	
	施用量	チツソ成分
砂壤土	32kg/10a 程度	6.7kg/10a
壤土・黒ボク	28kg/10a 程度	5.9kg/10a
粘質土	23kg/10a 程度	4.8kg/10a

鉄コーティング直播は表面播種のため、他の播種方式より倒伏に弱い傾向があります。倒伏を防止するため、土壌条件や前作物を考慮して基肥量を調整しましょう。

## 4. 播種

### (1) 播種適期と播種量

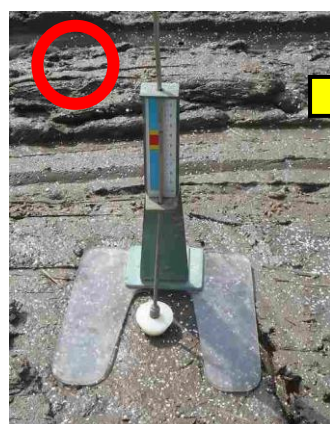
苗立本数40～60本/m<sup>2</sup>を目標に播種しましょう。

播種適期	4月25日～5月10日
播種量	乾粒で 3.0kg/10a 程度 (コーティング済み種子で5kg程度)



### (2) 播種時の土の硬さ

播種した種子が埋まると出芽不良になるので、播種時の圃場の硬さは種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度としましょう。



種子がピタッと張り付き、施肥溝が埋まらない程度の硬さ。



- 種子が見える
- 施肥溝が残り、肥料の粒が見える



カルパーを使用しないため、土中に埋めると発芽率が確実に低下します！

- ▲種子が埋まっている
- ▲施肥溝が埋まる



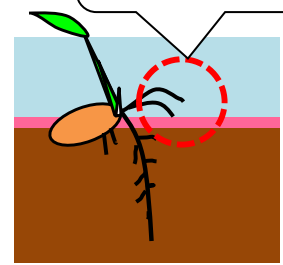
鉄コーティング種子播種時の土壌硬度の目安

## 5. 雑草防除

鉄コーティング直播では出芽苗立ちまで時間がかかるため、「初期剤＋初中期一発剤」の体系で除草しましょう。

- ① 播種同時処理で初期除草剤「プレキープ1キロ粒剤」1kg/10aを散布する。
- ② 2回目の除草剤（初中期一発除草剤）は、薬害を回避するためイネ2葉期頃に散布しましょう。

種子が土壌表面にあるため、根が露出しやすく、薬害のリスクが高い！

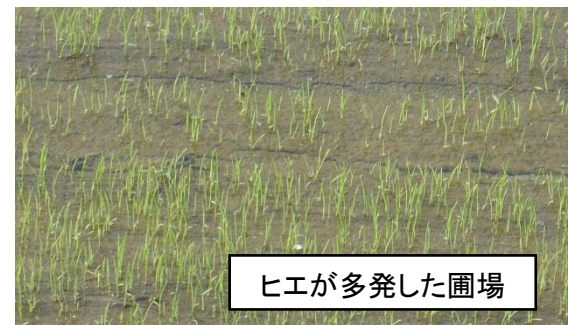


### ◎播種後の除草剤

	除草剤名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
初期剤	プレキープ1キロ粒剤	播種時、または播種直後～ノビエ1葉期 (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a	湛水散布	1回
	プレキープフロアブル		500ml/10a		
一発剤	ビッグシュアエース1キロ粒剤	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a	湛水散布	1回
	サラブレッドRXフロアブル	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	500ml/10a	湛水散布	1回
	バッチリ1キロ粒剤	イネ出芽揃期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a	湛水散布	1回

#### 【ノビエの発生が極めて多い場合】

初期剤を散布した後、初中期一発除草剤を散布するまでの間にヒエが多発した場合は、**クリンチャー1キロ粒剤(播種後10日から使用可能)**を散布しましょう。



ヒエが多発した圃場

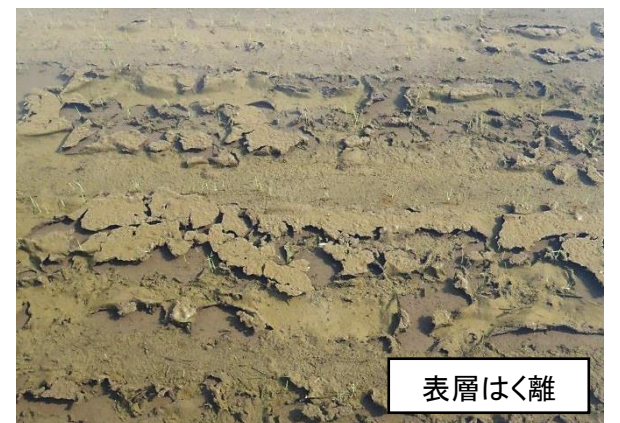
## 6. 播種時・播種後の水管理

種子の出芽を促進するとともに初期除草剤の効果を高めるため、以下の手順で水管理をしましょう。

- ① 代かき後、自然落水した状態で播種します。
- ② 播種作業が圃場の3分の2程度終わった頃にゆっくり入水します。
- ③ 播種終了後、5～7日は水深5cm程度の湛水管理を行います。
- ④ 自然減水した後は飽水管理とし、ヒタヒタ水の状態にして出芽させます。
- ⑤ 出芽後もイネ1葉期まで飽水管理を続け、その後入水します。

※スズメが飛来した時は、ただちに湛水して被害を防止しましょう。

※播種後に高温で雨が少ない場合など、**表層はく離**（表土が膜状に浮き上がる現象）が発生したら田干し等で対応しましょう。



表層はく離

### 播種後の水管理と除草剤散布のイメージ

